

# SDGs未来都市～ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市うえだ～

長野県上田市（2022年度選定）

## 1. 地域の特徴と課題及び目標

上田市は、長野県の東部に位置し、人口15万人余、面積552.04km<sup>2</sup>の都市で、平成18年3月6日に上田市、丸子町、真田町、武石村の4市町村の新設合併により誕生した。菅平高原、美ヶ原高原、千曲川など自然環境が豊かであり、日照時間の平均値が全国でもトップレベルである。

人口動態は、2000(平成12)年の166,568人をピークに減少に転じ、今後も減少する見込み。人口減少や少子高齢社会の進展により、中心市街地の空洞化等が進んでおり、これらに対応するため「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」や「スマートシティ化」の推進により、市民が幸福を感じられる社会の形成を図ることで「健幸都市うえだ」の実現を目指す。

## 2. 関連するゴール



## 3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

人口減少対策、カーボンニュートラルの達成、コンパクトシティの実現、スマートシティ化等、今後取り組む課題の解決に向け、市内中小企業の新産業創出や、地域内での経済循環に向けた取組、2050年カーボンニュートラルに向けた各ステークホルダーの取組の推進、コンパクトなまちづくりに向けた公共交通体系の見直し等を総合的に実施する中で、総合計画に掲げる市の将来像の実現、持続可能な社会を実現する。

## 4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

- 地域を支える産業振興・新産業創出  
スマート農業推進※、地域林産材の利用推進・付加価値の創出等  
※センシング技術を活用した作物（雨よけキュウリ）の高度な肥培管理技術の確立（試験ほ場を市内8箇所に設置）、AI技術を活用した選果サポートシステムの確立、実証の状況・結果等を関係者間で共有するビジネスチャット活用
- 暮らしを支える基盤整備  
電動シェアサイクル活用推進、AI・RPA等新たなICTの利活用推進、持続可能な地域公共交通の実現に向けた計画策定等
- 2050カーボンニュートラル実現に向けた取組  
再生可能エネルギー活用支援、地球温暖化対策、木質バイオマスエネルギー導入等

## 5. 取組推進の工夫

- 庁内若手職員によるSDGsワーキンググループを設置し、SDGs行動目標を決定。
- 広報誌やホームページで市内のSDGsに関する取組を紹介し、市民や企業等へSDGsの理解促進を図った。

## 8. 他地域への展開状況（普及効果）

定住自立圏の中心市として、周辺市町村との情報共有に努めている。  
中部地方ESD活動支援センター（環境省EPO中部）主催のSDGs学生サミットへ参加し、他地域の自治体や学生に取組を発表した。

## 6. 取組成果

- スマート農業導入件数 2022年：5件 ⇒ 2023年：7件
- 電動シェアサイクル利用回数 2022年：4,754回 ⇒ 2023年：9,755回
- 市民等への再生可能エネルギー活用設備設置補助件数（累計）  
2022年：6,892件 ⇒ 2023年：7,190件
- 「脱炭素先行地域」（環境省）選定
- 令和5年度から広報誌及び市ホームページにおいて、市内企業や団体、学校等におけるSDGsの取組を紹介するコーナー「SDGsひろば」を新設し普及啓発を図り、市民等へのSDGsの理解促進につなげた。

## 7. 今後の展開策

- 第2期上田市SDGs未来都市計画策定（令和6年度）
- 包括連携協定の締結先と連携し、市民向けSDGs意識アンケート調査を実施予定
- 脱炭素先行地域として、地域新電力会社を設立（R6.7月）し、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進する。